

Mobile Scan Tool **LOSSO-9 NEWS**

● 今年も宜しく願い申し上げます。

明けましておめでとうございます。2011年は東日本大震災やタイの大洪水等々、各地で大きな被害をもたらした災害が発生しましたが、2012年は1日も早い復興を願うとともに皆様にとって実り多き年となりますようご祈念申し上げます。引き続きLOSSO-9のご活用を宜しく願い申し上げます。

● 国交省によるスキャンツール実態調査が進んでいます。

去る11月2日に第2回目の自動車整備技術の高度化検討会が経済産業省で開催されました。12月号でもお知らせしましたが、1月16日～27日、2月6日～2月17日の日程で、検討会が定めた標準仕様機40台(4機種×10台)を使った実態調査が行われます。この調査に参加する事業場は、整備振興会50、電装品整備商工組合30、車体協30の計110工場で、期間中に5000件の診断結果を集めるとしています。1事業場あたり2週間で40～50件のデータ収集というのは、かなりハードルが高いと思われますので、(LOSSO-9で有料診断を実施している同友でも月間50件前後の診断数が平均的です)すでに終了した第1クール(12月12日～23日)でどのような調査結果が集まっているのか非常に興味があるところです。

また検査法人ではスキャンツールの操作性に重点をおいた調査を実施するようです。(日程は会議資料に記載がありません)将来的に排ガス検査にOBDスキャンを導入することになれば、スキャンツールの操作性だけでなく連動性も重要な課題になってくると思われます。

日整連では整備士の資格制度にスキャンツールに関する項目を追加するべく検討を進めています。同時にFAINESの利用が芳しくない為、無料キャンペーン、課金システム等についても検討する事としています。日整連から自動車メーカーに対して情報公開のプレッシャーが強まれば、結果的にスキャンツールの性能向上に繋がりますし、FAINESの利用も増えるのではないかと思います。

第3回の自動車整備技術の高度化検討会は2012年1月の開催が予定されておりますので、2月号にて内容をお知らせできると思います。

我々にとって、整備の現場が大きく変わる可能性を含んだ国交省の検討会です。ぜひ皆様も関心をもってご覧下さい。

■ 国交省 検討会の会議資料閲覧ページ

http://www.mlit.go.jp/jidosha/jidosha_fr9_000009.html